

みてみて！家庭学習ノート【深谷西小学校】

算数 9月8日(日)

白いテープは124cm.
 白は黒の4倍
 青は白の3倍
 124cm
 青 白 黒
 4倍

黒を1とすると白は4倍
 式 $\square \times 4 = 124$ $A: 31 \text{ cm}$
 $124 \div 4 = 31$

青

ヒトの体のうくり
 ヒトの体にはかたくてしなやかな
 ほねとやわらかいきん肉がある
 ・ほねとほねのつなぎ目を関節
 ・さいごこで体を曲げると
 とがでる
 ・体が動しくみ
 ・きん肉からきんたりゆるん
 たりすることで体を動かすことが
 できる。

関節
 ・ヒト以外の動物にも
 ・ほねときん肉、関節がある
 ・り体を動かしたり、
 動かしたりしている

図を見てヒトの体の
 しくみについて答えま
 しょう。

① 図の①②③を何とよみますか？
 ①(ほね)
 ②(関節)
 ③(きん肉)

② 次の言葉の中で 図の④(内側のきん肉)に関
 係するものを2つ選んでのせてみましょう
 ④うでをのばすと ⑤うでを曲げると
 ゆるむ ⑥うでをちぢむ

④うでをのばすとちぢむ ⑤うでを曲げるとちぢむ。

4年生家庭学習ノート

その日の学習の振り返りをていねいにしています。図や絵を使って分かりやすくまとめることで、わかったことやできるようになったことをしっかり確認しています。

社会・歴史

★歌舞伎
 ・江戸時代初期に始まる。
 ・江戸時代の中ごろに人気が出る。
 (人気があつてまじまじに観た!!)

●近松門左衛門 脚本家
 武士の身分を捨て、芝居の世界に飛込んだ。歴史上の物語や実際に起きた事件を題材にした約150編の脚本を書いた。しきいきとした姿や義理人情をえかき、太活やくをした。
 (歌舞伎に似て) (人形浄瑠璃の脚本を書いた)

★人形浄瑠璃
 浄瑠璃に合わせて人形をあやつる芸能。歌舞伎とともに多くの人々に愛され、現在も続いている。

★浮世絵
 ・すみ絵に比べてカラフル。
 ・外国の画家に大人気!!
 ・歌川広重の『東海道五十三次』が有名。
 ・今たどる人あまりみかけない。
 (江戸時代)

●浮世絵を作る。

絵師 ぼり師 すり師
 下絵をかく 色の数だけ使う色
 絵を裏返しを重ねて、何枚も刷る。
 版木にほる。

まとめ
 歌舞伎や人形浄瑠璃は、今までうりつかれ、浮世絵は、世界の画家で、興味をもつ人も現れた。また、歌舞伎・人形浄瑠璃は近松門左衛門、浮世絵は歌川広重が活やくした。

世界の画家で浮世絵に興味をもつた人
 ・ゴッホ! ・マネ
 代表的な作品
 ゴッホ…「タンキーいいさん」

近松門左衛門
 歌舞伎・人形浄瑠璃の脚本家の腕次著の太活、人気作家が

6年生家庭学習ノート

教科書や資料集をもとに、人物や事柄についてイラストやコメントを入れながらきれいにまとめています。最後のまとめでポイントが整理され、しっかりとした学習になっています。